

東京白楊だより

vol.46

2023.8.22

白楊ヶ丘同窓会東京支部
旧制函館中学校 函館中部高等学校
<https://kanchu.tokyo>

第46回親睦大会報告
第4回新人歓迎会報告
函・中・人 第73期 山田朗
随想 第81期 佐柳(関口)由佳
同期会だより 第60期 第71期
なるほど!ザ・TUBU
函中と夏の全国高校野球選手権
なるほど!ザ・白楊祭
追悼 島津路郎さん(78期)
第47回親睦大会ご案内

対面での親睦大会 四年ぶりの開催



白楊ヶ丘同窓会東京支部長
第76期 昭和49年卒

白川正広

皆様には、日頃から白楊ヶ丘同窓会東京支部の活動へのご理解ご協力をいただき、感謝申し上げます。
ここ数年は、すっかり新型コロナウイルスの影響を受けました。第44回（2019）は中止を余儀なくされ、第45回（2020）、第46回（2021）は皆様の安心安全を考慮してオンライン開催としました。形を変えた運営でしたが、多くの同窓会会員の皆様から以前と変わらぬご支援をいただきました。

今年は、なんとか、会員の皆様一同に会しての対面開催を計画しております。しかしながら、感染症法上の位置付けが引き下げられたとはいえ、未だ終息には至っておりません。そこで、従来に比べ会場の規模を少し縮小し、人数を制限しての開催となります。秋の1日、皆様に楽しんでいただけるよう幹事期の皆さんとスタッフ一同準備を進めております。会員の皆様におかれましては、ご自身の健康状態に留意してご無理のない範囲でご参加いただきますようお願い申し上げます。

2回の「リモート開催」を振り返りますと、本番当日に函館から、校長先生や函館の同窓会本部の役員の方にご挨拶をいただきました。

また、1年目には校舎内や屋上から見える景色の中継などを教頭先生に行っていただきました。平成の初期に建て替えられた校舎は、関東在住の多くの同窓生にとって足を踏み入れたことがない空間であり、高校生の時に見た屋上からの景色と違った校舎内や周辺の風景も斬新なものでした。函館在住の幹事期の同期のメンバーの協力も得て「函館の今昔からなる動画」を作成していただきました。

昨年はリモート開催の2年目、同期の著名な方による「道南にちなんだ講演とクイズ」を配信本部と外部からの参加者をZOOMによって双方向で繋いで回答していただき盛り上がりしました。

いずれの会も、「50歳になった期」の皆様に幹事期として企画運営をお願いしました。この仕組みを継続した

いと考えております。30歳、40歳の頃は、仕事や子育てがたいへんで同窓会の存在は知っていても、時間を割いて行事にご参加いただくことは難しいものと思います。ぜひ、50歳を迎えて、親睦大会の幹事を担当する順番になったことを契機に、同期の皆さんとあらためて連絡を取り合っていたいただきたいと思います。このご縁で、それから先、60歳以降になっても同期の方とつながることができている幹事経験の期の皆さんが多くいらつしやいます。

また、今年は、久しぶりに「新人歓迎会」を企画しました。この春に卒業したばかりの方や学生の皆さんに集まっていたいただき、東京支部とのつながりを作っていたためのものでした。今は、LINEなどのSNSで簡単につながる事ができるものと思いますが、函館の親元を離れての日々の生活の息抜きに同窓会というものがあつていいなという趣旨です。

2度の「リモート同窓会」は、それはそれで効果がありました。従来のリアル会場での方式と比べて、わざわざ都心の会場まで電車に乗って移動する必要もなく、一度、接続方法を覚えたら手軽に参加することができ、函館からでも幹事期を中心に参加者がありましたし、東北や関西方面、さらには海外在住の方にも参加を呼び掛けることが可能であり、同窓の輪を広げることにより一役買うものですね。今後も機会があれば、この方法は活用できると考えております。

さて、最後になりますが、函館中部高校の校歌四番の「限りなき流転のなかに・・・」というフレーズは同窓会会員の皆様はご記憶されていると思います。同窓会も時代の変化とともに形を変えていくことは、ある意味で必然なのかなと思います。今後の同窓会の運営などに関しまして、ぜひ、会員の皆様からの前向きなご意見などもいただながら、変化する状況に適切に対応していきたいと考えております。

引き続き、皆様のご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



『持続可能な社会の主体者の育成』 を日指した教育



北海道函館中部高等学校
第41代校長

清水信彦
(第86期 昭和59年卒)

日頃より、白川正広支部長様をはじめ、白楊ヶ丘同窓会東京支部の皆様には、本校の振興と教育活動へのご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。私は、この度の人事異動により、石狩管内江別市の大森高等学校から赴任してまいりました清水信彦と申します。私自身、本校の卒業生で同窓会の一員ですので、母校に赴任できたことをたいへん嬉しく思っております。微力ではありますが、道内有数の歴史と伝統を誇る母校の名門函中のさらなる充実・発展に尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ペントの白楊祭を3日日程で、4年ぶりに一般公開で新たな企画を入れながら開催したところ、多くの来場者にお越しいただき、白楊祭は盛会のうちに終了することができました。今年はただコロナ前に戻すだけではなく、本校ではポストコロナを見据えた教育活動の在り方を考え、実践していく新たなスタートの年となっております。

紙面をお借りしまして、学校の近況等についてご報告させていただきます。

(1) ポストコロナを見据えた 教育活動

コロナ禍での教育活動が実に3年以上も続きましたが、5月8日に新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことに伴い、基本的な感染対策は継続しながらも、ほぼ活動制限のない通常の学校生活に戻ってまいりました。特に、5月には4年ぶりに大沼での耐久レースを実施し、7月には高校生活最大イ



(2) 部活動

部活動については、全校生徒の加入率が約90%の中、野球部、陸上競技部、テニス部、バスケットボール部、水泳部、卓球部、バドミントン部、体操部、剣道部、弓道部、囲碁・将棋部、放送局、LMC(軽音楽部)、書道部など多くの部活動が全道大会への出場を果たし、中でも陸上競技部、放送局、書道部は全国大会への出場も果たす活躍をみせてくれています。さらに、7月に野球部が選手権大会函館支部予選の代表決定戦に進み、5年ぶりに全校応援を実施しました。その応援の声を背に、見事に10年ぶりの南北北海道大会の出場権を手にした際には、部員と顧問はもちろん、全校生徒、保護者OB・OG、同窓会の方々など学校関係者全員で母校の勝利に歓喜し、母校愛に満ち溢れる一体感を感じた嬉しい瞬間を味わうことができました。

(3) 令和4年度(2023年度) 卒業生の進路状況

この3月に卒業した228名の合格状況についてご報告いたします。

国公立大学は延べ150名、私立大学・短大延べ223名、高等看護学校延べ5名、専修学校3名となっております。特に、国公立大学の現役合格者が卒業生在籍数の約70%という過去最高の合格率となりました。内訳は、東京大学2名、大阪大学1名、東北大学3名、北海道大学10名、医学部医学科7名をはじめ、難関国公立大学にも合格者を輩出しています。私立大学においても、早稲田、慶応、明治、法政、立教、中央、青山学院など首都圏の大学に多数の合格者を出しており、たゆまぬ努力を続けた生徒たちの頑張りと実績は北海道内においても高く評価されています。

(4) 理数科設置2年目・スーパー サイエンスハイスクール (SSH指定校) 4年目

昨年度から新たに理数科が設置され、普通科4クラス、理数科1クラスの5クラス編成となり2年目を迎えました。理数科では、科学的現象に興味をもち、理科や数学等の専門性を高め、その専門性を将来にわたって追究しようとするスペシャリストの育成を目指しています。また、文部科学省より「スーパーサイエンスハイスクール

ル(SSH)」の指定を受けて4年目を迎え、すべての生徒で大沼の自然環境調査、課題研究の発表、大学の先生方の講演会や研究施設を訪問するなかで、自らが問いを立て、その問いを解決するための探究的な学びを深め、世界で活躍できる科学系人材の育成を目指しています。結びになりますが、本校ではこの他にも海外6大学との連携による短期留学制度や医進類型の研究指定事業の取組に力を注いでいます。が、今後も「白楊魂」を柱とした函中の輝かしい伝統を継承しつつ、社会の動向や未来を見据えた教育活動を展開し、「持続可能な社会の主体者」を育む生徒主体の教育を推進してまいります。今後とも同窓生の皆様には、本校の教育活動に対して多大なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。白楊ヶ丘同窓会東京支部の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。



親睦大会報告

白楊ヶ丘同窓会東京支部



会場に集まった理事会メンバーと91期の皆さん

2022年11月5日(土)、第46回白楊ヶ丘同窓会東京支部親睦大会が開催されました。

今年も、コロナ禍での開催ということで、昨年に引き続きZOOMを利用したオンラインでの開催となりました。より発展した形での開催を模索しながら準備を進めて参りました。当日の会場には、理事会メンバー、幹事の91期生、次回幹事期である92期生のみが参集しました。昨年と異なり、司会者、発表者はマスクを外すなど、時の状況を鑑みてやや緩和した形での開催となりました。今回の参加者は約60名でした。

【開会】

78期の岡部あさ子副支部長の司会で、開会です。オンライン会議のサポート専門業者である小瀬氏にもご挨拶いただきました。岡部さんの穏やかな語りに、過去の対面での親睦大会を回想し、心が癒された参加者のかたも多

かったのではないのでしょうか。

【同窓会歌斉唱】

今年も、会場では声を出して歌うことはできませんでしたが、代わりに懐かしい画像を合わせた同窓会歌(旧制函館中学校校歌)をZOOMで流しました。

【支部長挨拶】

白楊ヶ丘同窓会東京支部長 76期白川正広氏よりご挨拶がありました。白川支部長からは、遠方からも参加可能なりリモートによる親睦大会の開催の継続について前向きに捉えられている旨のお言葉がありました。



ARCADIA KIKAWA
白川支部長挨拶

【ご来賓ご挨拶】

白楊ヶ丘同窓会副幹事長 84期青田基様と、函館中部高等学校教頭 佐々木真一先生より、リモートでお言葉をいただきました。中部高校においては、あらたに理数科が始まったことや、

無事に白楊祭が実施され伝統が継承されたことなど、嬉しいご報告がありました。



青田副幹事長ご挨拶

【乾杯】

皆さまのお手元に飲み物をご用意いただきました。乾杯のご発声は、今年の東京白楊だよりにおいて「函中人」で紹介させていただいた64期 佐藤宣踐(のぶゆき)氏にお願いしました。佐藤氏は、柔道家として世界に知られている「山下泰裕IOC委員、JOC会長」の育ての親であり、また東京2020



佐藤宣踐さんによる乾杯のご発声

の総監督を務められた井上康生七段をはじめ20名の世界チャンピオンを育てられています。こうした功績に対して、昨年「瑞宝中綬章」を受章されました。佐藤氏の原点は函中で始めた柔道にあり、その後柔道一直線であられたという一途な人生観をお聞きし、同じ卒業生として感慨深いものがありました。

【91期企画】

ここからは、今年の幹事を担当する、91期が司会を務め、「函館・道南 にちなんだ科学クイズ」を行いました。司会は91期の野中典代さん、クイズ解説は同じく91期の藤田貢崇さんです。



法政大学で教鞭を取られている藤田さん

藤田さんは、法政大学で教鞭をとられており、「NHKラジオ子ども科学電話相談」の答える先生もされております。クイズは全6問、ZOOMの投票機能を利用して、参加者の皆様がりモートで回答する形式を取り入れました。津軽海峡のブラキストンラインの南北で生物の種類が異なること、函館の川でウナギの稚魚が確認されたお話など、楽しみながらも少し賢くなれたような時間ではなかったでしょうか。ZOOMの投票機能を駆使し、参加者の回答状況がタイムリーに配信されたり、生放送ならではのハプニングもあったり、クイズを通じて地元愛を深められる時間だったと感じます。また、藤田先生の解説、野中さんとの掛け合いも心地よく、TV番組顔負けの本格的な企画となりました。

【歓談タイム】

昨年に引き続き、卒業年・部活・出身中学ごとにグループ分けしたルームを設け、ご歓談いただきました。技術サポートが適宜入る円滑な進行で、皆さん和気藹々と楽しんでいらつしやいました。

【幹事挨拶】

91期代表の吉井恒子さんが挨拶をさせていただきました。



幹事期である91期の皆さん

【次期幹事挨拶】

92期代表の坪内君枝氏より挨拶がありました。92期のみなさん、次回の親睦大会をよろしく願います。

【新入会員紹介】

残念ながら、出席者はおりませんでした。次回への期待を込め、副支部長の松永久氏(81期)に今後の展望などお話しいただきました。



坪内さん

【校歌斉唱】

校歌をZOOMで流しました。声を出せない配信本部と大きな声で歌ってください。オンライン参加の皆様、それぞれの心の中で校舎での思い出がよみがえり、一体となった瞬間でした。懐かしい時間もそろそろ終わり、最後に汐見和人理事(89期)の音頭で三本締めをしました。



松永副支部長

【閉会】

来年は、できれば対面とオンラインの両方の形で皆様にお会いできることを楽しみにしています。そのコメントをもって閉会しました。

今回は、コロナ禍での開催2回目ということで、昨年に引き続きZOOM開催となりました。進行では、双方向コミュニケーションを取り入れるなど工夫をしましたが、まだまだ進化の余地はありそうです。

親睦大会の幹事の仕事など大役ができるのか不安でしたが、多少の困難があっても状況や時流に合わせて楽しむことは可能、ということはこの親睦大会を通じて学びました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

(91期 吉井恒子 記)



2022年11月5日(土)

第46回 親睦大会出席者一覧

来賓 (敬称略)

函館中部高等学校 教頭	佐々木真一
白楊ヶ丘同窓会 副幹事長	青田基(84期)
白楊ヶ丘同窓会札幌支部 幹事長	酒井純(75期)
白楊ヶ丘同窓会関西支部 支部長	寺地徹(81期)
白楊ヶ丘同窓会関西支部 事務局	高野晃(65期)

57期 昭和30年卒	吉田精吾
62期 昭和35年卒	池田長
64期 昭和37年卒	佐藤宣踐
67期 昭和40年卒	松田幹夫
68期 昭和41年卒	越中谷庸三 山本晴義 木戸正文 内藤和明
69期 昭和42年卒	伊東英一 梅田五郎 梅田やよい 江澤富士代
71期 昭和44年卒	佐藤昭治
72期 昭和45年卒	古旗邦夫
75期 昭和48年卒	金丸洋一
76期 昭和49年卒	中澤満 松井直人 白川正広
78期 昭和51年卒	岡部あさ子 斯波宇司
79期 昭和52年卒	小林聖子 柴祐子 樋口澄則
80期 昭和53年卒	土谷俊一
81期 昭和54年卒	松本由美 松永久 石田人士 渡邊由美子
82期 昭和55年卒	清水真
83期 昭和56年卒	田口志保
84期 昭和57年卒	今井雅子 桑村竹則
85期 昭和58年卒	加戸茂樹 渡邊博幸 齋藤実
86期 昭和59年卒	皆川有紀
87期 昭和60年卒	荒谷修司
89期 昭和62年卒	汐見和人
90期 昭和63年卒	新井久仁子
91期 平成元年卒	吉井恒子 野中典代 藤田貢崇 旭悦子 奥美穂子 中村敦子 山口佳子
92期 平成2年卒	坪内君枝
97期 平成7年卒	野村武史
105期 平成15年卒	小林秀輝

※参加者合計 54名(来賓5名、一般49名)他数名

※Ogawa's iPhone7, tajimataku他、
卒業期や氏名不詳の方が数名いらっしゃいました。





**92期の皆さん！
待ちに待った対面の親睦大会で
懐かしい顔に再会しませんか？**



mail

詳しくは本誌24P（裏表紙）をご覧ください。
お問い合わせはこちら：
92ki.event.kancyu@gmail.com

今年は私たちが幹事期です。
白楊祭特集、クイズもあります！



第4回 新人歓迎会 トラットリア・チャオ (有楽町)

日時：2023年7月2日（日）12時～15時

会費：学生1000円、学生以外は5000円

開会挨拶・乾杯：白川支部長 司会進行：松永副支部長

閉会挨拶：岡部副支部長

69期	梅田 やよい	87期	末永 健	125期	中澤 剣生
76期	白川 正広	89期	汐見 和人	125期	佐藤 雄彦
78期	岡部 あさ子	90期	鹿野 祥子	125期	下垣内 陸
78期	垣坂 清	90期	新井 久仁子	125期	中釜 夢
81期	常陸 千尋	92期	服部 州恵	125期	宮崎 日向
81期	藤盛 隆志	92期	坪内 君枝	125期	東梅 航汰
81期	松永 久	92期	林 道子	125期	豊里 巴理
81期	渡邊 由美子	99期	朝緑 高太	125期	森 博仁
(順不同・敬称略 合計24名)					



今年度親睦大会
幹事の皆さん



125期の皆さん



125期の皆さん

渡邊 由美子（81期）記

そろそろ梅雨明けかと思われる暑い日が続いた7月2日（日）、有楽町駅からほど近いイタリアンレストラン「トラットリア・チャオ」にて、4年ぶりに新人歓迎会が開催されました。

今年3月に母校を卒業した125期の皆さんは、コロナ禍と共に高校時代を過ごすことを余儀なくされた学年です。思うに任せないこともたくさんあったと思いますが、それを乗り越えて新しい一歩を踏み出した125期の皆さん、誘い合わせて8名も参加してくださいました。お迎えするメンバーは、69期から99期の16名、総勢24名の賑やかな会となりました。

歓迎会は、支部長の白川さんによる開会のご挨拶と乾杯から始まり、まずは125期の皆さん、3月初めの卒業式以来の再会という事で同期の旧交を温めていただきました。その最中、函中野球部が夏の甲子園大会の予選、南北海道大会出場をかけた函館地区Bブロック代表決定戦で知内高校を破ったという嬉しい知らせが！どうも皆さん、スマホでこっそり観戦していたようです（笑）。他のお客様がいらっしゃらなければ、千代台球場の選手たちと一緒に校歌斉唱していたかもしれません。

その後は、皆さんやっと落ち着いて、食事、自己紹介など和やかに会が進行しました。最後のご挨拶を岡部副支部長から一本締めと共にいただいた後、125期の皆さんと同じくらいのお子様方がいらっしゃる90期新井・鹿野両理事チョイスによる食品詰め合わせをお土産にお開きです。「この後は、皆でカラオケ行こうかな」とおっしゃってた125期の皆さん。マスク無しで思いっきり歌えましたか？学びも遊びも手を抜かない函中生、昔からの伝統です。コロナ禍を経て、心も体も健康であることが大切だと痛切に思います。どうか、食事と睡眠をしっかりとって、お元気でお過ごしください！そして、11月4日の親睦大会でまたお会いしましょう！



ちょんまげ隊長&相撲マン

建築料理人

W-CUP観戦を人生のマイルストーンにする
趣味多きファンタジスタ。ちょんまげ隊員

山田 朗

AKIRA YAMADA 73期

一級建築士 第116826号 (1978年)

【略歴】

- 1971年 函館中部高校卒業
- 1981年 株式会社計画機構一級建築士事務所設立
代表メンバー
- 1985年 SDレビュー入選
- 1986年 日本大学理工学部建築学科大学院
修士課程終了(都市計画研究室)
- 1988年 株式会社アルファ・コンサバトリーズ設立
(英国コンサバトリー輸入)
- 1997年 川崎製鉄デザインコンペ入選
- 1998年 武蔵野市マスタープラン策定委員
- 2005年 NPO法人 市民まちづくり会議・
むさしの 理事

【FIFA ワールドカップ観戦歴】

- 1998年 フランス大会
- 2002年 日韓共同大会
- 2006年 ドイツ大会
(2010年 南アフリカ大会は棄権)
- 2014年 ブラジル大会
- 2018年 ロシア大会
- 2022年 カタール大会

●普段はどんな仕事をされている
のでしょうか？

22歳よりいわゆるアトリエ事務所
に入所し、5年ほど修行して、仲
間と設計事務所を開設。
以来約40年間に渡って主にデザイ
ン主体の建築設計を行ってきました。

バブル時代に住宅分譲開発をする
ために、クライアントと共にビジ
ネスアイディアを探しに、サンフ
ランシスコ、NY、ボストンを巡
り、建築展示会で英国のコンサバ
トリーに出会い感銘を受けました。

翌年にはセカンドカンパニーを設
立し、日本で初めてのコンサバト
リーを輸入、当時英国のトッププ
ランドだったAMDEGA社と日
本の総代理店の契約を締結しまし
た。



全英オープンゴルフで有名な
Gleneagles Hotelに代表される
AMDEGA社のConservatory

英国大使館が英国製品を日本に売
り込むキャンペーンで、日本各地
で製品のプロモーションを展開し

ました。特に積水ハウスが各地の
住宅展示場にコンサバトリー付の
住宅をシリーズ化したため、設計
の仕事と相まって北は十勝から石
垣島、西表島、波照間島まで日本
中飛び回りました。

●高校時代は何部だったのでしょ
うか？

3年間弱小スキー部でしたが、夏
はテニス部の球拾い、サッカー部
の玉拾いなどしていました。

●そんなアキラさんがワールドカ
ップの観戦にハマったわけを教え
てください。

テレビ東京系列で放送されていた
「三菱ダイヤモンドサッカー」と
いう番組が好きでよく観ていまし
た。ヨーロッパのサッカーを中心
に、金子勝彦アナウンサーと、後
に日本代表監督やサッカー協会会
長になる岡野俊一郎さんの解説で
放映されていたのですが、日本と
あまりに違うワールドクラスのサ
ッカーを観て衝撃を受けました。
それからすかね、いつかワール
ドカップに行つて観てみたいと思
うようになったのは。その後、日
本が初めてワールドカップに出場
を決めたフランス大会から行くこ
とに情熱を傾けるようになりました。

●ちよんまげ隊に参加したきっかけは何だったのでしょうか？

2014年ブラジル大会がきっかけでした。石巻女川の東日本大震災の被災地の生徒を募金だけでWcupへ連れて行くという活動に共鳴し、一緒に活動を始めました。



ちよんまげ隊長と

●そもそも、ちよんまげ隊って何でしょうか？

ちよんまげ隊の隊長、角田さん（通称：ツンさん）は靴屋さんを経営されていて、東日本大震災の時に何か支援できることが無いかと模索していたそうです。そんな時ツイッターで運動靴や靴下などが圧倒的に足りてないことを知り、「これは運動靴を持っていくしかない」と思い、現地に赴いたのが最初のきっかけだったらしいです。それ以来、4年に一度のワールドカップやオリンピックを現地で応援し、被災地支援や障害者支援を行っています。

●ボランティアとして被災地の子どもたちをワールドカップへ引率しているそうですが、どのような思いでそのような活動をしているのでしょうか？



今回のカタール大会では400万円の寄付金をもとに、5つの被災地から計8人の高校生、大学生を招待する「トモにカタールへ！」を実施しました。

被災地支援のボランティアは個人では中々出来るものではないと感じていましたが、サッカー好きな自分にとってサッカーを通じてボランティア活動が出来る事があると知り、被災地の生徒を帯同し一緒に応援する事で物的な支援では無く、人的な支援が被災地への間接的な支援に繋がればとの思いで活動しています。無理せずできる



被災地生徒とカタール大学生との交流会



生徒たちとの食事会

事で支援するのが大事かと思っています。また、仮設住宅で疲弊している生徒達を連れて行く事で世界に触れてもらい、地元に戻ってリーダーシップを発揮できる人間に成長して欲しいなと願っています。

●今回、中東のカタールでの開催でしたが、ドーハは初めての訪問でしたか？

実は初めてですが、40数年前にイ

ランの原子力発電所の先行立上げ（海水淡水化）現場にスーパーバイザーとして日本人20人位と共に派遣されていました。いよいよ日本チームが引き揚げようとしていた矢先にイラン革命が本格化しました。ホメイニ師がフランスからイランに戻る段になり、空港が閉鎖し帰国出来なくなりました。2週間経っても旅客機が飛ばず困っていたところ、プロジェクトマネジャーが船をチャーターしカタールに逃げようという提案をしてきました。イラン、プシエール原発建設地にいた私には、カタールって何処？という感じでしたが。



40数年も経って、そのカタールに来るとは。不安な思いで足止めされていた当時、現場に持つて行ったカセットテープの中には中島みゆきの「時代」があり毎日の様に聴いていました。まさに時代は巡ると実感しています（笑）。

●当時イランからはどのように帰国したのでしょうか？

結局イランからは船をチャーターし、カタールまでは逃げる事が出来ませんでした。しかしその後、ドイツがルフトハンザ航空で救援に来る事となり、ドイツ人日本人全員がドイツのフランクフルトまで逃げる事が出来たので、そこから帰国することができました。未だテレックスの時代、1ドル220円くらいの時代でしたね。

●ワールドカップでの思い出の試合はありますか？

今までの大会での思い出は沢山ありますが、今回のスペイン戦での「三苦の1ミリ」を生で観ることができたのが一番の思い出になりました。

VR（ビデオ判定）が当たり前になり、ボールの中にICチップが埋め込まれ、ボールが1ミリでも線上に有ればオンの判定になります。



三苦の1ミリ
出典：Sports Illustrated NUMBER



本場ブラジルでシュラスコ



スタジアムボランティアさん

す。これが無かったら勝ててい
ませんでしたよね。
普段デジタル嫌いの私ですが、こ
の時はかりはデジタル様々でした。

●ワールドカップ観戦の醍醐味を 教えてください

実はサッカーより文化的な楽しみ
の方が多くて、サッカー30%その
国の文化を楽しむ事が70%くらい
を占めている感じです。

美術館めぐり、建築物めぐり、食
文化探訪。

ドイツでは半生ソーセージと地ビ
ール、そしてバッハの墓参りにセ
ント・トーマス教会へ。

ブラジルではシュラスコとカイビ
リーニャ、そしてブラジリアの建
築群とボサノバ。

ロシアではセリウトウカとウオ
ツカ、そしてエルミタージュ美術
館とチャイコフスキー音楽。
そして各国のサポーターとの交流
も楽しいです。

●話は少しありますが、お料理上 手ですよね

母が料理好きで、小さい頃から味
見をさせられていた影響で、物心
着いた時には食いしん坊になって
いました。それに加え、建築設計
の丁稚奉公時代より食に関して幸
運なことが多々ありましたね。

「食に関する三つの目から鱗」

帝国ホテルの総料理長だった村上
信夫シェフの直属の部下、西脇部
長の家の新築を担当し、時々帝国
ホテルの厨房に打ち合わせに行き
ました。ランチを食べて行けとホ
テル内のフレンチでサーロインス
テーキを注文し、西脇部長はあの
シェフハットのまま私と対面で食
べましたが、未だ若造の私が恰幅
のいい部長とテーブルを囲む、今
考えても違和感でしかなかったと
思います。サーロインステーキを
前にして西脇部長はホール係を呼
び醬油を持って来い、ステーキ
には醬油が美味しいと言って私にも

勧めました。これが第一の目から
鱗。

35年前から英国コンサバトリの
輸入を始めてからは毎年のように
英国へ出掛けました。

北アイルランドのメーカーへ伺っ
た時に、レストランメニューのメ
インの中にジャガイモの皮のなん
チャラ料理。それまでジャガイ
モの皮は剥くものと思っていまし
たが、皮から5ミリ位の部分をメ
インディッシュ料理にするとは。
これが第二の目から鱗。

10年前に出会ったグルテンフリー
食生活。テニスのジョコビッチが
それまでは準決勝止まりでしたが、
グルテンフリー食生活に変えてか
らは決勝常連になりました。私も
それを真似て小麦に加えて砂糖も
極力摂取しない食生活にしたところ、
体重が約10kg減り、動きが
軽くなりました。これが第三の目
から鱗です。

●今回はアメリカ大陸大会ですが、 また行かれるのでしょうか？

はい、4年毎のWcup大会は人
生のマイルストーンとして身体
の続く限り参加します。

今回はカナダ、アメリカ合衆国
メキシコの共同開催になるので、
移動距離が半端ないです。日本戦
の応援はPVですとして、メキ

シコのための参戦と考えています。
ちなみに、ロシア大会では2千キ
ロ、ブラジルはそれ以上の移動距
離がありました。

メキシコのマヤ文明アステカ文明
も大いに興味がありますからね。
また、グルテンフリーの私として
はメキシコのトウモロコシ食文化
を研究してきたいと思っています。

●最後にメッセージをお願いします。

「好きこそものの上手なれ」
創作する事、モノ作りが大好きで
10年前より日本の伝統工芸である
漆塗りを始めました。

今年になり品川の清泉大学の100年
前の校舎を見学する機会を得て、
明治期に活躍したジョサイア・コ
ンドル設計の建築に触れ、今まで
静まっていた絵画を描く気持ちが
起こり、新たなライフワークとし
てコンドル、ヴォーリーズの建築
を描いて行く事に決めました。



清泉女子大学本館（ジョサイア・
コンドル設計）を描く

そして長年仕事の中心であった設
計から料理をデザインする、ペン
を包丁に代えて好きな料理の道を
伸ばして行きたいと考えています。

※カタル大会観戦記は、東京支部
公式サイトで8月30日より掲載予定
<https://kanchu.tokyo/wcup>



●感想

長年、同窓会報の編集長を担って
いただいたアキラさん。料理が上
手で毎回ワールドカップを観戦す
る、なぞのイケオジ、アキラさん。
どんな人生を歩んできたのかとて
も興味がありずっとインタビュ
したかったのですが、ようやく念
願叶いました。

人生100年時代が定着しつつある今、
70歳を超えてもまだまだ新しいこ
とに取り組む姿勢や、興味のある
ことを自分に素直に突き詰めてい
く姿勢は素晴らしいなと思いまし
た。また、カタル大会でのゴミ
拾いが世界中から称賛されました
(アキラさんもちよいちよい映つ
てます)が、ちょんまげ隊として、
被災地の子どもたちを引率し、世
界を見せる活動をしていることも
今回初めて知ることができ、改め
てスケールのデカさを感じました。

荒谷 修司 87期

GO To 函館山!

—山野草、野鳥、
そして人との出会い—



第81期
佐柳(関口)由佳

左：函館山登山道から 上：オオルリ



2020年。いよいよ81期も還暦を迎えようとするその年。18歳で函館を離れ、学生生活、社会人生活、家庭生活と首都圏でそれなりにがんばって過ごしてきた人生。さて同期会も楽しみだなあ、というまさにその時に親の介護とコロナ禍が同時発生しました。

緊急事態宣言に移動制限で、函館はまるで鎖国状態。

そんな中、横浜の仕事場がコロナの緊急事態宣言で閉鎖される事態へ。コロナ離職か？ 介護離職か？と考えるマもなく気がつけばオットを首都圏に残しての函館介護生活が始まっていたのでした。

行動制限、ソーシャルディスタンス、なつかしい函館の友人に会うどころか、閑散とした街でマスクを探してひとりドラッグストアを彷徨う日々。

孤独です。つらいです。

悲しくて寂しくて空を見上げたら、その向こうに函館山がありました。

あそこはせいぜいキツネとしか会わんだろう、あそこに行っても誰も文句言うまい！と水とパンを買って、宝来町電停から函館山に一直線。政府の言葉を借りるならば

「GO TO 函館山!」。

その昔、白楊祭の後に真つ暗な中を登った旧登山道・・雀卓担いで登った人もいたっけな。今はなんだかやけに整備されていてスタスタ歩ける。山の上でパンを食べて水を飲む、マスクをはずして息を思い切り吸って、函館の町を見下ろした時、涙があふれました。

きもちいい！うれしい！おいしい！

そして、それ以来、介護の合間には山に直行、の日々が始まりま

す。

函館山には登山ルートが何通りもあります。毎回あっちの道、こっちの道と歩き回り、うっすら山の全体像がみえてきたかな？というそんな頃―時は春。



カタクリ



函館山要塞跡

やっぱりひとりにはさびしい、とうなだれたところに、あれ？可憐な花々が。

実は函館山は、戦後まで軍の要塞として使用されて民間人の立ち入りが禁止されていたために、貴重な花々が保存されている奇跡の「花の山」だったのです。

早春の花々に続き、初夏は貴重な蘭の花々があちこちでひっそりと咲いています。



エビネ



コケイラン

夏はむん！と香り高くあちこちに木の花が咲いています。猫の大好物のマタタビも、この頃、かわいい花と美しい香りです。ヒトと虫を誘います。

ん？ずっと下ばかり見て歩いて
いたけれど、ふと上をみたらな
んだか鳥もイッパイいるなあ：
そんな最初の冬がやってきまし
た。
コロナ禍2年目です。相変わら
ず人と会ってはいけません。ま
すます人が見当たらない函館に
て、緊急事態宣言下の介護の日



ススキロード

秋は見渡す限りの金色のススキ
ロードに色とりどりの実。虫や
鳥を誘っています。



アサギマダラ



冬の登山道



シマエナガ

々です。花も咲いてない。木の
葉の落ちてしまった函館山。
やっぱりさびしい、ひとりぼ
びしい、寒い山はきらいだ。と、
ひとりゴンボホッテいたところ、
シッポの長い白いチンコイ小鳥
の群れがワラワラやってきまし
たよ。なんだっけ？これ？
あ！北海道にしかないシマエ
ナガ！
初めて見るシマエナガ、50m先、
スマホで写しても「小さい白い
ナニカ」にしか映らない！
「鳥をちゃんと撮りたい」
「カメラほしい！」
国民みんながもらった、なんと



キビタキ

か給付金はここにて役に立つこ
とになりました。
冬、花のない函館山をさくさく
登ると、氷点下の寒空の下でま
んまるくなっているシマエナガ、
ウソ、ベニヒワなどなど。必死
に生きているのが愛おしく、一
期一会の出会いを求めて厳寒の
山歩きも続けました。修行！
そしてふたたび春。カメラを持
って、上を見たり下を見たりの
山歩き。実は函館山は渡り鳥の
宝庫としても名高いのです。
こんなたくさんの野鳥たちが
私の頭上を飛びかっていたん
だ！と発見の2年目の春。ひと
りで、ふっと視線を感じてそっ
ちを見ると、鳥がいるんですよ。
「あんたもひとりかい？」
って感じで。彼らはその後、夏
の盛りに向けてお相手探しと子
育てに精を出すわけですが。
そして秋には、北海道各地で子



マユミの実とメジロ

育てをした鳥たちがワサワサと
函館山にまた大集合します。津
軽海峡を超える前に函館山で栄
養補給と一旦休憩。そしてエイ
や、と南に渡っていくのです。
この時期は函館山はまるでウグ
イス谷にめじろ台かの大賑わい
です。

市電一本で自然がいつぱいのワ
ンダーランドへ行ける、すごい
街です。函館。
さてさて、60年間、花の名前も
鳥の名前も生態も全く興味のな
い人生を送っていた私。名前な
んで知ってるの？図鑑で調べた
ん？
それもあります。ほとんどが
この行動制限下の山で巡り合っ
たすばらしい知見の方々の受け
売りです。静かすぎる函館山。
でも一人でそっと花を見つめて
いる方がいるのです。ひとりで

カメラを持って遠くを見ている
方もいるのです。そおつとその
方が覗き込んでいる花の名前を
尋ね、目線の先の鳥を教えてい
ただきました。ここはコロナ禍、
マスク越しに小声でヒソヒソと
山です。空气清新機よりきれいな
空気が流れているのね。
突然降りかかったような第二の
人生？？函館山があり、美しい
山野草とメンコイ野鳥たちに出
会い、そして優しくてたくまし
い函館の方々と出会えました。
想定外だらけですが、結構楽し
い人生2周目の出発点だったか
もしれません。
私の故郷が函館で、
函館に函館山があつて、
「ほんんつとくに、よかった！」

【追記】父、関口昭平（函館
中学校 昭和二十年卒）は、
2022年12月に永眠いたし
ました。2021年の親睦大
会には、オンラインゆえ病床
の父と共に参加する事ができ
ました。大きな声でスラスラ
と同窓会歌を歌う父。函館山
山頂から望む山々の写真を見
せると、全部の山の名前を教
えてくれた父。晩年の父とそ
んな思い出を作れた事もコロ
ナにちよつとだけ感謝です。



シラネアオイ



キクザキイチゲの花畑



スミレ

函館山

で出会ったもの

春の野草



サイハイラン



サルメンエビネ



ハクサンチドリ



ノビネチドリ



ベニマシコ (オス)

函館山の蘭



ヤマシャクヤク



エゾアジサイの群落



クルマユリ



カンボクの花



ルリビタキ

夏の函館山

鳥たち



ヤマシャクヤクの実



マムシグサの実



マタタビの実

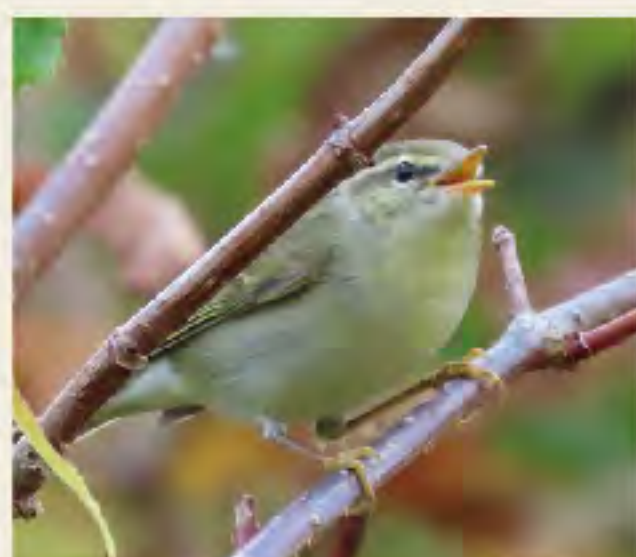


ノブドウ



サルトリイバラ

秋の実り



ウグイス



ノゴマ



ホオジロとクサギ



ベニヒト

旅する鳥たち

同期会だより



第60期 函中三三三
65年ぶりの「修学旅行」

内藤 尚

令和4年10月、三三三会（昭和33年卒の会、第60期）は全国の会員に呼び掛け、東北の温泉地に泊まる親睦旅行を企画・実施しました。

当時、コロナ禍も一進一退で何かと心配はしましたが、久しぶりにゆつくりと語り合いたいとの一心から、幹事一同は一致協力して企画準備に取り組み、そのために幾度も幹事会を開きました。

場所は全国各地から集まりやすい仙台駅集合、蔵王温泉に泊まり、松島、瑞巖寺を拝観する一泊二日の行程でした。

企画当初は少なかったコロナ感染者数は7月後半から第7波を迎え増加しましたが、幹事の

誰一人弱気になる人はなく、やがて全国からの参加希望者が徐々に増えて総勢24人を数えたときは本当にうれしく思いました。幹事たちの想いが通じたのか当日が近づくにつれコロナ感染者数は急速に減り始め、小康状態となりました。

東北はまさに秋の旅行シーズン、おまけに当日は天候にも恵まれる最高の状況になりました。初日は蔵王エコーラインを上つて紅葉をめでつつ「蔵王のお釜」までの見学。

ガイドの説明の中に、樹氷のもとになるダケカンバの樹はなぜ枯れ始め、通称「賽の河原」には雑草が増え、エメラルドグリーンを湛える「お釜」の水位が徐々に減ってきているという、自然環境の変化に心配する老いた修学旅行生の姿がありました。宿泊地は遠刈田（とうがった）

温泉のアクティブリゾート宮城蔵王。温泉はゆったりしている

し各個室も広く、会食では全員が語り合えたりでたいへん好評でした。

さらにコロナ感染に対応する全国旅行支援策を受けた宮城県旅行割引の対象になるという恩恵には、皆からたいへん喜ばれました。手続きにはワクワクン接種証明書や本人確認書類などの確認が必要でしたが、上平幹事のおかげで全員の手続きがスムーズにそして見事に進められ、これで割引だけでなくお土産代にも使えるクーポンももらいました。

翌日は松島方面へ、伊達家の菩提寺でもある瑞巖寺を中心に参観しました。宮城県随一の人気を誇る遊覧船での松島島めぐりは、時間の関係で出来ませんでした。私は自由時間に昔の人力車に乗って旧街道遊覧を楽しむ、伊達家繁栄の時代を想ったりしました。

バス集合時に生じた迷子トラブルもありましたが、中部高校

の教師の経歴もある水江先生の見事な引率のお陰で、参加メンバーが一生懸命見学し、学びそして楽しむことができました。旅行の企画から全行程をきめ細かく準備し、実行された飯田さん、それを助けてくれた山根さん、幹事さんには本当にありがとうございました。

何よりも私どもの企画に賛同し参加してくれた皆さまに心からの感謝を申し上げます。

最後の仙台駅に向かうバスでお礼をのべた時に、はからずも頂いた皆さんからの拍手が私達



幹事に対する最大の贈り物であったと改めて想い出しています。どうも有難うございました。

第71期

「加納元雄君を偲んで」

成田 秀信

6月17日（土）、4年振りに「同期会」を銀座ライオン7丁目店特別席で行った。

我々の要であった加納元雄君が2年前に他界され、偲ぶ会の開催を多くの声が出ていたが、コロナ禍で躊躇していた。しかし、4月25日に「同窓会評議員会」が対面で開催されたこともあり、会える時にと、急遽、纏め役の川村君に相談をしたところ、場所は毎年持ち越しで押さえていると、流石名幹事。そこで連絡幹事の佐藤君にメールしたら、何と1月末に頸椎を損傷し、手術後のリハビリ生活を終え、やつと死の淵から帰ってきたばかりだと。だが、連絡役は出来るかと頼りがいがある男。今後は「夜の帝王」から「不死身の帝王」と呼ぼうか。加納よ、佐藤君を追い返してくれてありがとう。

斯くして、前回と同じ場所、午

後2時に我々の恩師水江先生（60期）と生徒28名が集合。北は函館から小倉君（8組）、岩手から安彦君（9組）、南は福岡から旧姓佐野さん（1組）と遠い所からも集まってきた。先生を同期生と間違える輩も出てくるやら（確かにあまり変わらない）、連絡した筈だが参加名簿にないと出席する輩もいて、席は？名札は？と慌てたが、流石、加納君が鍛えた同期、用意できているではないか。

まだ2名程来ていないが始める事に。幹事から故加納君へ「献杯」を捧げスタート。今回は故加納君への思い出やエピソードと自身の近況を一人2分程度で全員語って貰う算段していたが、やはり無理。10組の幹事の私から、対面での同窓会開催参加と年会費振込のお願いをアピールして、スタート。久々に参列した生徒会仲間の坂口君（10組）は自身の結婚式に参列してくれた話。今日カメラマン役の何でも様になる千葉君（9組）等多少押してきたが、会が進むにつれ段々收拾がつかなくなっていく。会社から200万円を持たされて欧州へ買い出しに行かされた話、今春に受勲（瑞宝単光賞）された高野君（6組）、

おめでとう。しかし、今日は偲ぶ会だから、と時間に焦りだす幹事。いつか「俺、私のこれまでの自慢話同期会」をやる。今日参加出来なかった仲間の欠席理由など長々と話し始め、初幹事で小心な小生、会場をウロウロする始末。

誰か若そうな奴が空いていた席に座っている。誰かの家族か？とヒソヒソ話。何だ遅れてきた川村君（6組）だ。加納君への思い出等を語って貰い、会もやっと終りかけてきた。

が、まだ一人来ていない。「天国の声」「オイ、何で君が来ない。久々に来ると言うから楽しみにしていたのに。何、毎日が日曜日になりスケジュール管理ができず、猛省していると。うーん、でも闘病中には色々治療の相談を受けてくれたから、許すか。」

いよいよ、最後に水江先生の番がやってきた。少し前に函館へ行ってきた、青柳にある先輩である亀井勝一郎氏の文学碑を訪ねてきたとのこと。そこには自筆による「人生邂逅し 開眼し 瞑目す」と記載されていることを披露され、ダラダラと流れた会も最後締まって無事終了となった。そしていつもの集



合写真へと。16名が次の場所へ、延々と4年振り再会と加納君を偲んで続くよ、何処までも。要がない中、色々意見があるが今後は？ とうする「東京支部71期同期会」・・・。

株式会社イコー建設

一級建築士事務所

代表取締役 佐藤 一廣 (69期)

〒165-0033東京都中野区若宮1-28-1 野方会館2F
電話: 03 (3223) 0168(代) FAX: 03 (3223) 0658
mail: k-sato@f-rn.co.jp

火ばしら会

東京支部



昭和42年卒業

69期

函中72期生、
72才を越えて・・・東京さつき会に集合
2024年5月18日(土)、5年ぶり開催決定！

函中72期東京同期会(東京さつき会)

(広告協賛) 渡部総合法律事務所 新宿御苑前 電話03-3355-5415(代)



★過去のさつき会スナップ写真★

「追悼」

島津路郎さん(78期)を偲ぶ

2005年(平成17年)第28回親睦大会より、同窓会歌、校歌のピアノ伴奏を担当し、雰囲気盛り上げて下さいました。



「島津君が先」

垣坂 清 (78期)

私は函中二年時の芸術系科目は音楽を選択しました。他の選択肢としては美術と書道があったと思います。選択科目の時間はクラスのメンバーがそれぞれ科目別の教室に分かれて授業を受けていました。音楽の授業は私たち6組と隣の5組の音楽選択者が音楽室に移動して受けることになっていました。

が聞こえます。5組の島津君は音楽の授業前にいつもピアノを弾いていました。聞き覚えのある曲でしたが、曲名は知りませんでした。何度も繰り返し練習しているようでした。しばらくしてからその曲が前年(1973年)の11月にリリースされた荒井由実の『アーストアルバム』『ひこうき雲』に収録されている『ベルベット・イースター』であることがわかりました。はじめて荒井由実の『ベルベット・イースター』を聞き、ピアノ演奏が島津君の弾いていたのと同じだったので、驚いた記憶があります。音楽室で何度も聞き、頭に刷り込まれたので、『ベルベット・イースター』のメロディーを聞くとピアノ小僧とも呼びたくなる島津君がうれしそうにピアノを弾いている姿をイメージするようになりました。

今頃、どこかの音楽室に先入りしてベルベット・イースターを弾いているのかも・・・

「もう一度聞きたい、優しいピアノ」

小野田和子(73期)

RORR0弟君は親睦会で校歌の伴奏を嬉しそうに弾いて印象的でしたが、余興でショパンを弾く姿も悦に入り楽しそうでした。

実弟と同期と言うことで、十数年前に私の同期会と加賀廣で合同開催の折、ピアノの話をしたのがご縁の始まりです。独学で努力された弟君は、熱心で情熱的で行動力のある方。私の退職時の演奏会にも駆けつけて下さり、ご発病後も3時間近くかけて埼玉まで聞きに、そして我が家でも弾いて下さいました。副作用などで指が動かないと言う中でも本番前の私を励まし、母の介護中も温かい言葉でお力添え下さり：神のような方です。



贈り物やお手紙は宝物です。2年前の発表会でバツハが好きになったと言って、来年もと選曲のお手伝いもしたのですがその後音信が途絶えました。術は無く、見守るだけででしたが、もう一度嬉しそうに弾くピアノを聞きたかった・・・



「オシャレでパワフルな先輩」

山形リサ(94期)

ピアノの上手なオシャレな先輩。島津さんと知り合ったのは、私が海外勤務を終えて日本へ帰国した平成17年のことでした。一体いつ休んでるんだろう?と思うくらいパワフルで、あちこちで精力的に演奏活動し、周囲の方々との交流も大切にされてい

た島津さん。東京での演奏活動再開に向け動き出していた私に、いつもさり気なく声をかけてくれる気配りの人でもありました。私のピアノ教室の発表会に出演してくれたことがきっかけで、生徒同士の交流も生まれていました。音楽への情熱に溢れ、演奏の喜びというものを体現し続けていた島津さん。病気が発覚してから「自分の演奏をCDに残すんだ」と、最後の最後まで音楽への情熱を燃やし続けていました。同じ音楽を愛する者として、こんなに強くてカッコいい人はいらるだろうか・・・と尊敬の念に堪えません。ご冥福をお祈りいたします。島津さん、本当にありがとうございました。



なるほど!

中部高校

the TUBU



南北海道大会函館地区大会の優勝旗



東京白楊だより第42号で、現在の校歌の誕生秘話や校歌に歌われた風景、そして楽譜の変遷と改訂の話が綴られていたのは記憶に新しいところだと思います。卒業後に校歌を歌う機会となると、各支部で開催される親睦大会はすぐに頭に浮かびますが、それ以外はぱっと思い浮かばないのではないのでしょうか。

しかし、7月2日の日曜日、オーシャンスタジアム（千代台公園野球場）で行われた、夏の全国高校野球選手権南北海道大会函館地区予選決勝で知内高校に逆転で勝利し、10年ぶりに南北海道大会進出となった時に球場にいた皆さんが歌った校歌は、卒業以来歌う、久しぶりのもので、現地で歌われたOBの皆様にとって格別だったと思います。実は、この日、東京支部では、この春卒業した125期卒業生の歓迎会を開催していたのですが、歓迎会と決勝戦の時間が重なり、9回表の場面では、会の進行はそちのけで全員が応援していました。スマホ越しにライブで流れる校歌は、遠く離れた東京でも感動的なものでした。

さて、興奮が冷めやらぬ中、7月6日に今年の幹事期である92期が、白楊祭の取材で母校を訪



清水校長先生(第86期)と



エース五十嵐君にインタビュー

問し、私も同行させていただきました。そこで、今回の南北海道大会に導いた立役者の一人である、ピッチャーの五十嵐さんにインタビューできました。ちょうどこの日は南北海道大会の抽選日で、北海高校と初戦で対戦することが決まった直後のインタビューでした（取材協力、ありがとうございます！）。その際、決勝戦で勝って歌った校歌の感想を聞いたところ、「全校応援の中で勝利し、みんなで歌うことができたので、とても良かったです」と話してくれました。



甲子園出場校の校名が刻まれたボールウォール（甲子園歴史館）

さて、今回のなるほど！ザ・TUBUは、高校野球やそれまつわる話をお届けします。

Q1 中部は甲子園には出たことがあるか？

A 夏の選手権に2回出場しています。記録を調べると、第7回全国中等学校優勝野球大会（1921年）に初出場を果たしており、その時は1回戦で岡山一中（現在の岡山朝日高校）に3-4で敗れています。2回目は、第28回全国中等学校優勝野球大会（1946年）です。この時は1回戦が不戦勝で、2回戦で山形中学（現在の山形東高校）に13-5と勝利しました。そして、準々決勝で、この大会の優勝校である浪華商業（現在の大体大浪商）に0-6で敗れました。ということで、最高は全国ベスト8です。

Q2

夏の甲子園、北海道大会の決勝戦が函館で行われたことはある?

A 意外なことに何度もあります。中部が初出場した1921年には函館市柏球場（これが今のどの球場なのかいろいろ調べたのですがわかりません。どなたかご存知の方がいらっしゃったら、お教えください!）で函館商業との決勝戦に勝ち、夏の甲子園出場を遂げています。その後は谷地頭球場、湯ノ川球場などでも行われたことがあり、1954年には千代ヶ岱球場（現オーシャンスタジアム）で開催されています。札幌での開催（中島球場、円山球場）に固定化されたのは、1957年の第39回大会（この時は函館工業が3回目の甲子園出場を果たしています）以降のことです。そして、105回目を迎える今年は、準決勝と決勝をこの春開業したエスコンフィールドで開催することが決定しています。今回、南北海道大会の抽選会もエスコンフィールドで開催されました。

Q3

中部出身のプロ野球選手はいる?

A いらっしゃいます。第28回全国中等学校優勝野球大会（1946年）の時の4番として活躍された沼澤康一郎氏です。プロ生活は6年ほどでしたが、南海やクルトのコーチ、さらにはスポーツ記者やテレビ解説者としても活躍されました。惜しくも1989年に58歳の若さでお亡くなりになっています。

番外編

全国に「中部」の名前がつく高校はある?

A 現在は本校以外に4校あります。富山中部高校、中部大学第一高校、中部大学春日丘高校（ともに愛知県）、築上中部高校（福岡県）です。以前は沖縄県に中部工業高校があったのですが、平成17年に校名変更で美来工科高校になりました。

ちょっとマニアックなデータ集になりましたが、お楽しみいただけましたでしょうか。
（81期 松永 久 記）



1978年の白楊祭「ディズニーランド」

てくてくと徒歩で登った記憶があります。なぜ登ったのか、理由が思い出せません。どなたかご存知の方がいらっしゃったら、今年の親睦大会の時にでも教えてください。

（神の声：山頂で「告白タイムPart II（Part Iは前夜祭のフォークダンス）」もしくは、「クラス皆でハンカチ落とし、花いちもんめ」など諸説あり）

さて、長年の伝統を持つ白楊祭は、コロナ禍には様々な制約の中での開催でしたが、今年は4年ぶりに制約のない状態で行われました。

そのため、テーマは、「Mission ～あの白楊祭を復活させよ～」でした。今の全校生徒は、コロナ前の白楊祭を主催者としては体験したことが一度もないので、その意味では、コロナ前に戻すだけでなく、自分たちで創り上げる、新しい白楊祭という思いもあったのではないかと思います。

ちなみに、白楊祭は全日制と定時制が連携しての開催となっており、定時制のテーマは「一陽来復 ～一人はみんなの為に～」でした。今年の親睦大会の幹事を務められる92期から、今年の企画は「白楊祭」とお聞きしているので、これ以上はネタバレになるので、ここまでにします。なお、当日は可能であれば白楊祭で販売されたグッズの販売も行われるかもしれません。いろいろなアイテムがあるようなので、お楽しみにしてください!

81期 松永 久（と神の声）記



「孫悟空」年代不詳



五後郭電停付近を練り歩く仮装行列

会員短信

令和4年8月〜令和5年7月迄
の会費の払込票と返信はがきの
メッセージから



●山下二郎(S25年卒52期)

5才に函館に移り、19年を(幼)小、中、高、大、院)住み、以后静岡・清水に66年。今あるのも函館で受けた教育と感謝しております。

●遠藤宏(S27年卒54期)

三力月に一度、学生会館で昼食会を開催してきましたが、最近では及能君、山崎君、谷君等亡くなり、淋しい限りです。オンラインによる親睦大会、どんなものか楽しみです。

●山田幸平(S27年卒54期)

脳こうそくりハビリで埼玉の老人ホームに入居の身で、大変な世の中で増々制限があり、皆様の発展を祈念いたし、欠席します(娘代筆)

●吉田精吾(S30年卒57期)

昨年の大会に出席し、大変楽しかったので今回もどうぞよろしくお願いいたします。

●越智馨(S31年卒58期)

80才を越えと、不自由な事も多くなりましたが、今のところ元気に家事をこなせるのが嬉しいところです。幹事の方々に感謝です。御盛會を祈ります！

●鏡原澄子(S32年卒59期)

いつも「同窓会誌」をありがたうございます。早くコロナ禍が終るといいですね。皆様お元気で!!

●古川セツ(S32年卒59期)

「東京白楊だより」を懐かしく拝読しました。

真船昭さんが万年幹事で開いて下さった同期会もコロナ禍で開催されず残念に思っております。

11月5日のZOOMでの親睦大会は当初の予定があり参加できないとあきらめてしまったのは、残念でした。

予定が1週遅れ、11月11日〜25日まで南イタリア。シチリア、マルタ島に行つて参ります。

●飯田幸平(S33年卒60期)

コロナ感染禍の中、役員皆さんの活動に感謝しています。

●伊藤紀子(S33年卒60期)

現在82才、役に立たない日々を過ごしています。が、函館とか函中等の文字にはまだ反応する力はあるらしいです。ご盛會を祈つています。

●白戸寿男(S33年卒60期)

コロナ禍の時代ガンバッテ!!

●鶴丸迪子(S33年卒60期)

色々御苦勞様です。対面で参加できる様になったら出席したいと思っています。

●所明彦(S33年卒60期)

身体が衰えが際立ってきましたが、東京白楊だよりを毎年楽しく読ませていただいています。今回特に佐藤宣踐さんの早弁の話が面白かったです。早弁がみつきり豊岡先生(数学)にこつぴどくやられた男子生徒たちを思い浮かべております。

●宮川満子(S33年卒60期)

いつも白楊だよりを楽しみにしております。ありがとうございます。

●斎藤慎一(S34年卒61期)

東京白楊だよりvol.45読みごたえありました。特に佐藤宣踐と岩本美雪の記事、良かった。上手に編集されていますね。ありがとうございます。

●米村光子(S34年卒61期)

いつもお世話いただきました。ありがとうございます。今年も「東京白楊だより」から元氣をいただきました。

●市丸大平(S35年卒62期)

東京白楊だより、いつもありがとうございます。

会員短信になつかしい名前を見つめるのが楽しみです。

●佐々木和夫(S36年卒63期)

残念ですが、11月5日(土)は八王子スポーツウエルネス吹矢の大会のため欠席致します。

●杉沢雅(S36年卒63期)

東京白楊だより、ありがとうございます。

初めて新幹線を利用して墓参しました。久しぶりに旧宅跡(千代ヶ岱)から、啄木小公園まで歩きました。秋季で、ハマナスの実が鮮やかでした。

●中村崇(S36年卒63期)

ご苦勞様です。毎回ご案内頂いて居りますが今回で東京会は退会させて頂きます。札幌会に参加します。

●平間須磨子(佐藤)(S36年卒63期)

白楊だより、充実ある内容ですばらしいです。ずっと今までのものとつてあり、時にはみて楽しむこともあります。ありがとうございます。

●斎藤俊子(S37年卒64期)

白楊だより、有難うございます。佐藤宣踐さんとは、小・中学校から同窓で、ご活躍の詳細嬉しく拝読致しました。元氣をいただく事が出来ました。

●佐藤宣踐(S37年卒64期)

オンラインでは有りますが、久しぶりに親睦会への参加は楽しみにしています。

●山崎栄治(S37年卒64期)

夫(山崎栄治)はアルツハイマー病が進行して来ましたので、5月よりホームに入居致しました。豊かな自然の中で心穏やかに過ごして居ります(妻 山崎陽子)

●越前彬(S38年卒65期)

東京白楊だより、ありがとうございます。御無沙汰しております。

私(越前)は住所不明者になっておりましたが、同期の北村、鎌田君が捜してくれ、白楊ヶ丘同窓会東京支部があることを知りました。白楊だよりを見て、なつかしさで一杯です。パソコン等は出来ません。今後ともよろしく御願い致します。

長年、御無沙汰しておりましたので、一万円寄付します。私は、順天堂大学を卒業してから、千葉県の高校を何校か経て、最後は成田西陵高校で退職しました。

今は、太極拳と読書三昧の生活をしております。浪漫派の亀井勝一郎氏は、函中の先輩なのですね。皆様の御多幸を祈ります。

●小嶋正蔵(S38年卒65期)

毎年この時期は地元イベントに参加していますので、残念ながら欠席させていただきます。オンライン開催も大変結構ですが、対面での同窓会が待ち遠しいですね。盛會を祈念申し上げます。

●市中栄一郎(S40年卒67期)

今回も残念ながら出席出来ません。

●安田康次(S40年卒67期)

コロナ感染がなかなかおさまらない中、ご苦勞様です。今後ともよろしく御願いいたします。

●越中谷庸三(S41年卒68期)

コロナ禍の中、集まることの是非が問われますが、リモートでの開催を準備して頂き感謝致します。

●木村脩司(S41年卒68期)

親睦会も含み対面での会が出来にくい日々が続いています。一日も早く、皆さんが集えることができればと思っています。

●小林真哉(S41年卒68期)

退職して5年経ちました。地域の囲碁クラブへ通ったり、気が向けば近くの自然公園へバードウォッチングへ行ったり、妻と卓球をやったりして余生を送っています。

●佐藤朝子(佐藤)(S41年卒68期)

なつかしい高校ですね。東京白楊だよりvol.45の函・中・人の欄に、私の兄、佐藤宣哉がとり上げられ、とてもうれしく思いました。私も栃木の片すみでボランティア獣医として犬猫にふりまわされております。

●重松健二(S41年卒68期)

10代から70代後半になりました！皆さま元気で過ごしてしょうか？80歳の同窓会、是非実現して下さい！

●二上朝文(S41年卒68期)

埼玉日高市に約40年。ボランティア3つ程。

●金子茂子(庄司)(S42年卒69期)

白楊だより楽しく読ませていただきました。

●近藤千寿子(瀬川)(S42年卒69期)

なかなか、集まりに参加できませんが、「白楊だより」を読み楽しんでます。先日函館に行った時の場中学が無く新校舎で巴中学となっていました。

●佐藤和明(S43年卒70期)

73才、元気に過ごしています。

●佐藤勝義(S43年卒70期)

11月5日(土)当日は、剣道五段の受審日と重なり、欠席させていただきます。

●宮田司(S43年卒70期)

特にありませんが、本年5月に札幌より、東京の知人と共に同期の渡部さん、吉田さん、宇美さんが静岡に富士山を見に遊びに来られました。

●川村哲雄(S44年卒71期)

昨年のオンライン親睦大会が第3土曜日の開催でしたので、今年の人間ドック検診を第1土曜日の予約としましたら、逆に重なってしまい、残念ですが欠席します。来年の4年振りとなる「グラウンドアーク半蔵門」での従前通りの開催が出来ますことを是非とも願っています。

●令和元年の開催後は今年(令和4年度)も取り止めされた71期東京地区同期会ですが、会場の「銀座ライオン7丁目店」の予約も更新延期されていて、令和5年6月17日(土)13時~15時で引き続き予約されています。

「加納元雄君を偲ぶ会」と併せて

の来年コソの開催を願っています。

●近藤丘(S44年卒71期)

5月に仙台から那須塩原に転居しました。尚、仕事は来年3月まで続けていますので、当面単身での赴任となっています。

●高野泉(S44年卒71期)

現在、退職後の非常勤職員、他公務所の非常勤をすべて退き、年金生活で細々と日々を過ごしております。コロナ下で大学の同期生、71期で同期の加納君、佐々木君等次々と亡くなり、焼香もままならず残念でなりません。コロナが過ぎれば、又東京の同期会ができる様に祈ります。

●須貝友紀子(関)(S45年卒72期)

役員の方、いつもご苦勞様です。函館がなつかしいです。

●森本立男(S45年卒72期)

行事には参加していませんが、活発に活動しておられる様子を「東京白楊だより」で楽しく拝見させて頂いております。コロナ禍でリモートワークも3年になりました。

●若林靖史(S45年卒72期)

きれいな会報をありがとうございます。

●神谷亮一(S46年卒73期)

盛岡市在住です。73期故水上透君に勧められて2019年2月と2020年2月の2回、東京の同期会に出席しました。東京支部親睦大会にも出てみたいです。

●竹村弘美(S46年卒73期)

いつもありがとうございます。

●三宅一俊(S46年卒73期)

いつも案内、データの取りまとめ、ありがとうございます。

●伊藤正明(S47年卒74期)

皆様と再会できる機会を楽しみにしております。

白楊だよりの坂道と港の写真に見入ってしまいました。オンライン同窓会を楽しみにしております。スタッフの皆様も御苦勞が多いことと存じますが、宜しくお願いします。

●池田新(S47年卒74期)

幹事の皆様、ご苦勞様です。

●篠 晶子(斎藤)(S47年卒74期)

昨年末に引っ越しをして住所を変更いたしました。再送をしていただき、本当にありがとうございます。今後とも宜しくお願いいたします。

●阿部明夫(S48年卒75期)

きれいなリーフレットをどうもありがとうございます。コロナ禍はなしくずし的に「これはもうウイズコロナなのか」と思っています。皆様お元氣で暮らして下さいように。

●掛川祐子(S48年卒75期)

いつも白楊だよりを送ってください、ありがとうございます。今回の表紙は私の中では日本一有名な坂と思っております八幡坂ですね。実家のすぐそばにあります。9月に帰省した折にはゆつくり上り下りしてみようと思っています。皆さま、ご自愛くださいませ。

●川原真理(S48年卒75期)

まるで長い眠りから覚めたかのよう、35年の専業主婦生活から抜け、学習指導の仕事に飛び回っています。現在は、塾講師&家庭教師としてフル回転しています。

●金丸洋一(S48年卒75期)

今年もオンラインで参加いたします。ちよつと物足りない面もありますが、このご時世で仕方がないのか・と思っています。11月5日は元氣な姿でみなさんに会えることを楽しみにしています。

●宮下知子(S48年卒75期)

NHKBSワールドニュースのロシアニュースの通訳は今も続けています(33年目)歌手活動は、加藤登紀子さんと同じステージに立つなど充実した2022年でした。シャンソンとロシア歌謡をうたっています。同窓の皆様にも聴いていただく機会がありますように。

●赤坂彰彦(S49年卒76期)

定年せずに、そのまま病院に勤めています。コロナ患者が押し寄せたので、土曜日は休めない状況が続いています。

●小泉勉(S49年卒76期)

小生も勤務が「三三三」では無くなり、時間も出来てきたので、初めてですが参加させて頂きます。

●曾我正彦(S49年卒76期)

同窓会の運営、お疲れ様です。

●高山悦子(石井)

(S49年卒76期)

「東京白楊だより」ありがとうございました。いつも楽しく拝見させて頂いております。

●平澤博(S49年卒76期)

新潟競馬場のレースコースを作ったり、天然ガスパイプラインを新潟から静岡まで埋めていたり、北陸新幹線のトンネルを掘ったりしてきましたが、いよいよ令和5年3月で仕事を離れる事にしました。

砂場でトンネルを掘ったり、雪でダムを造ったりしたような仕事で、お金をもらえたのは幸せな人生だったと思っています。

●松井直人(S49年卒76期)

毎年「東京白楊だより」をお送りいただきありがとうございます。世の中が落ち着いて、同期会など開催できるようになりましたら、また参加したいと思っています。年に1、2度は函館に帰っています。

●山森一(S49年卒76期)

今年7月をもって退職しました(42年勤務の一社一筋でした)

「Sunday毎日」の暮しに入りましたが、あれやこれやと今までの整理、これからの準備とすることがあります。11月に会場に集まり、東京支店の(失礼東京支部)顔をつきあわせたえーん会、やりたいです！来年こそ。

●大久保博生(S51年卒78期)

会報を通じて、同窓生の元気な様子に励まされます！

●木村明弘(S51年卒78期)

理事、幹事の皆さん、いつもありがとうございます。コロナ禍の中でも、いろいろと工夫されご苦心重ねられながらのご尽力に感謝致します。いつか集える時を楽しみにしております。

●長澤一徳(S51年卒78期)

会報有難うございます。早くリアルで集える会が出来るといいですね。土曜が都合が悪くなり参加できません。盛会になれば良いですね。

●成田吉道(S51年卒78期)

早くコロナがおさまって、また皆で一同に会せる日を楽しみにしています。

●山平匡人(S51年卒78期)

今年は仕事の為に参加できません。御盛会をお祈り申し上げます。

●土谷一彦(S52年卒79期)

60才過ぎて、体が疲れやすくなってきました。自治会役員をつとめており、コロナが落ちついて秋の行事と重なっております。今回は欠席とさせていただきます。

●山本恭之(S52年卒79期)

9月に初孫が生まれました。本物のジジイになりました。

●児島美也子(S53年卒80期)

今回は引越に伴いまして参加が叶いませんでしたが、次回は出席させていただきます。ご盛会を祈念いたします。

●田中誠至(S57年卒84期)

コロナ禍の環境下、なかなか函館にも帰省できず、またリアルでの会食も難しい中、この様なオンラインでの同窓会は大変貴重です。幹事、事務局の方々の御苦労には頭が下がります。有難うございます。

●幡谷恵(大久保)(S58年卒85期)

ご案内ありがとうございます。WEB開催など工夫をこらした運営にいつも感謝しております。

●丸山比子(S58年卒85期)

調剤薬局に勤務しております。コロナの第7波では自宅療養者に薬を自宅にお届けする件数もだいぶ増えました。プライベートでは娘が結婚しました。早くコロナがおさまり、同窓会(リアル)も出ると良いですね。

●柳川清尊(S58年卒85期)

コロナ対応で多忙のため欠席でお願い致します。申しわけございません。

●酒井耕一(S59年卒86期)

義弟の結婚相手の父上が同窓の大先輩です。いつか、このだよりに写真を送りたいと願っております。同窓生の皆様の益々のご発展を祈念しております。

●高橋伸明(S59年卒86期)

ご案内ありがとうございます。今回は調整がつかず親睦大会は欠席致します。このような状況ではあります。皆様には健やかにお過ごしになれますようお祈り致します。

●宮崎輝(H1年卒91期)

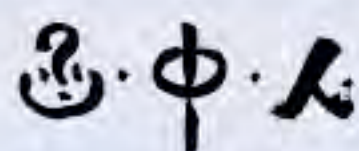
2021年6月より京都市に移りました。会社の転勤です。

●萩野真輔(H4年卒94期)

親睦大会の成功と皆様の御健康、御活躍を御祈念致します。



函館の写真募集中!



募集! 自薦他薦問わず

随想 募集します
伝えたいことなど
1000字程度で
お送りください

1コマ高24×幅95mm
5000円
2コマ10000円
4コマ20000円



広告募集

お問合せ・お申込み kaihou@kanchu.tokyo



弁護士 加戸茂樹 (85期)

(第二東京弁護士会所属)

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-8-3 四谷三信ビル5階
四谷東法律事務所

電話 03(5366)1601 FAX 03(5366)1602

行政書士白川事務所

代表 白川正広(76期)

mail: shirakawamasa@ybb.ne.jp
https://shirakawamasagyosei.com/

2022年度収支実績および
2023年度予算 (単位:円)

	2022実績	2023予算
収入	年会費収入	843,000
	大会費収入	0
	寄付金収入	244,000
	会報広告収入	70,000
	その他	100,006
	合計	1,257,006
支出	大会関連費用	498,208
	会報関連費用	710,502
	その他事業	27,438
	諸会議費	104,035
	通信運搬費	21,149
	派遣交通費	13,730
	その他運営費	173,206
	予備費	0
	合計	1,548,268
	差引収支残	-291,262
	次期繰越剰余金	4,674,739

日時：2023年4月25日（火）18：45～19：30 出席者：23名
場所：インテリジェントロビー・ルコ D2会議室（新宿区揚場町）

<2023年度評議員会報告>

2023年度の評議員会は、4年ぶりに対面で開催し、以下の(1)～(4)につき、すべて承認を頂いた。

(1)2022年度事業報告

新型コロナウイルスの拡大により、新人歓迎会は中止となったが、親睦大会はオンラインで開催した。また、東京白楊だよりは、24ページでの発行となり、コロナ前の水準に戻すことができた。理事会は、2022年度も対面での開催を避け、オンライン会議の形式で開催した。

(2)2022年度収支決算報告

昨年も、多くの皆様に年会費をお支払いいただく機会である親睦大会を対面で開催することができなかったため、差引収支は昨年度の黒字から一転して291,262円の赤字となった。2023年度も厳しい事業環境が続くと考えており、引き続き収支改善の実現を図りたい。
なお、真船監事より監査の結果、収支決算書が正しいことを確認したとの報告を頂いた。

(3)2023年度事業計画案

新人歓迎会は、新型コロナウイルスの感染拡大の動向を見極めながらも、実施の方向で考えることとなった（なお、別掲の通り、7月2日に開催し、125期の新人8名が参加した）。
親睦大会は、4年ぶりに対面での開催を予定している。なお、今年は大会の様子をライブ配信（無料）することを予定している（詳細はP24裏表紙）。
東京白楊だよりは、昨年度同様24ページを想定している。
その他、支部活動の活性化をはじめ、アフターコロナにおいても持続的な活動ができるよう、種々の事業の実施を計画している。

(4)2023年度収支予算案

2022年度の収入・支出額それぞれの実績ならびに、2023年度の活動計画を踏まえ、年会費の増収と諸経費の節減を織り込み、収入支出とも225万円の予算とした。

(5)役員の選任及び異動の件

今年度は、改選期ではないため、役員の選任及び退任はない。

松永 久（81期）記

年会費のお振込みをお願いいたします

白楊ヶ丘同窓会東京支部は、会員の皆様からお寄せいただく年会費やご寄付により運営されております。年会費：3000 円(80歳まで)
会計に関するお問合せ：payment@kanchu.tokyo (81期 渡邊)

年会費は、以下の方法で納入いただくことができます。

1 会報に同封の払込取扱票
(払込料金東京支部負担) を利用する

※2022年1月より現金でのお支払いは手数料110円がかかります。
※お送りした払込票を紛失されるなどしてご自身で払込票を記入される場合、加入者名は「白楊ヶ丘同窓会東京支部」、口座記号番号は「00190-1-124291」です。

2 払込票を使用せず、ご送金いただく場合

便利なインターネットバンキングで送金したい等のお声をいただき、以下口座を開設し、ご利用いただいております。

銀行口座名称：「白楊ヶ丘同窓会東京支部」(4行とも)

みずほ銀行	溝ノ口支店	普通 2712051
三井住友銀行	鎌倉支店	普通 0202759
三菱UFJ銀行	用賀出張所	普通 0107761
ゆうちょ銀行	〇一九 店	当座 0124291

(ゼロイチキュー)

振込人氏名欄はスペースを空けずに、「期→卒年→氏名」の順でご記入ください。例：81S54ワタナベユミコ
振込手数料が必要な場合は、恐れ入りますが、振込人様のご負担でお願いします。

【寄付について】 東京支部では80歳（今年は64期）までの皆様に年会費の納入をお願いしております。それより上の期でご寄付をお考えの方、また下の期の方で年会費以外にご寄付をお考えの方は引き続きご支援宜しく願い申し上げます。

ご寄付御礼 (敬称略)

昨年度は47名の方からご寄付を頂戴いたしました。
中には、ご逝去された方もいらっしゃいますが、ご遺族様のご厚意によりお届けいただきました。
ここにお名前を掲載し、御礼に代えさせていただきます

46期 岡本榮二
51期 小野寺吉彦
52期 山下二郎
54期 後藤泰雄 山田幸平
57期 水江晋一
58期 越智馨 川崎洋子
59期 鏡原澄子 古賀裕美 坂口義弘 田中二仁
新田正勝 古川セツ 真船昭

60期 飯田幸平 伊藤紀子 白戸寿男 所明彦 内藤修子
内藤尚 水江彰一 宮川満子 渡辺章子
61期 斎藤慎一 村本光彦 三上和子 米村光子
62期 池田成昭 池田長 市丸大平 酒井隆行 田村雅英
64期 佐々木京子 二宮信子
65期 越前彬
69期 鈴木健二
72期 渡部敏雄

73期 葛西浩
75期 千島秀子
76期 中澤満
78期 廣林範彦
85期 柳川清尊
87期 荒谷修司
89期 越前屋薫
92期 服部州恵
112期 村越貴仁

白楊ヶ丘同窓会 東京支部 第47回親睦大会のご案内

ライブ配信(無料)
詳細は東京支部
サイトにて
お知らせします!



今年の親睦大会は、4年ぶりの対面での開催です!ただし、感染対策上ご参加いただける人数に制限があるため「お申込み先着順」での受付となります

とき **2023年11月4日(土) 13:00開始** (12:30受付開始 15:30終了予定)

ところ **アルカディア市ヶ谷(私学会館) 5F 大雪** 参加費 **8000円 学生無料** (ただし年会費3000円納入者のみ適用・当日会場での納入可)



ご自身の健康状態に留意して、ご無理のない範囲で
ご参加いただきますようお願い申し上げます。

アルカディア市ヶ谷 ご案内

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
TEL: 03-3261-9921(代)

ACCESS <https://www.arcadia-jp.org/>

- ・JR中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅から徒歩2分
- ・地下鉄 有楽町線・南北線 市ヶ谷駅(A1-1)出口から徒歩2分
- ・地下鉄 都営新宿線 市ヶ谷駅(A1-1・A4)出口から徒歩2分

参加お申込みについて

以下の2つの「Step」を経て、受付完了となります。

《Step1》(いずれかの方法をお選びください)

- ① Web申込(推奨):
8/30(水)~10/14(土)
東京支部サイト<https://kanchu.tokyo/>
から、または右のQRコードより専用フォーム
へ移動し、必要事項を入力後送信してくだ
さい。



- ② ハガキによるお申込み
返信用ハガキに必要事項をご記入の上、
10/14(土)必着でご返送ください(郵送料不要)。

《Step2》

東京支部より、「受付完了のお知らせ」をメールまたは葉書に
て、お送りさせていただきます。
これをもって受付完了となります。お知らせは当日まで大切に
保存してください。

- ※参加希望者が定員を超えた場合、最終締切日前に受付終了となり
ます。最新のお申込み状況は、東京支部サイトにて随時更新します
ので、お申込みの際の参考にして下さい。
- ※当日の飛入り参加は、恐れ入りますがお受けできません。
- ※お問い合わせは、専用フォームまたは、
メールevent@kanchu.tokyo で受付担当渡邊までお願いします。

白楊ヶ丘同窓会東京支
部の皆様、4年ぶりの対
面での親睦大会開催のお
知らせです。

イベントの企画、運営
担当は、東京支部理事会
のメンバーの方々と共に、
平成2年卒業の第92期が
務めさせていただきます。
バブル期に高校時代を過
ごし、卒業後にバブル崩
壊、激動の平成と共に壮
年期を過ごして来た私た
ちです。

親睦大会は、緊急事態
宣言が初めて発令された
年の第43回は中止になり、
その後2回は、オンライ
ン開催となりましたが、母校の白楊祭においてもこの3
年間は、制限のある中での開催でした。今年は4年ぶり
に一般公開復活での3日間開催となりました!

後輩達のこの喜びと、成功への意気込みを皆様に是非
ご覧いただきたいと思い、学校にお願いして取材させて
いただきました。

校舎も、私達の頃の面影は無く、新しく建て替えられ
ましたが、白楊祭もまた色々と様変わりしました。それ
らの様子と生徒の皆さんの熱意をご紹介します。クイズ
形式で楽しんでいただきたいと思います。

今回は、久々に対面で会う事のできる貴重なチャンスで
もあります。お誘い合わせの上、お集まり下さい。

(92期 幹事一同)



編集後記

両中人の山田さん、GOTO両館
山!の佐柳さん、それぞれとも
興味深い内容になりました。人生
100年時代、50歳からの人生をいか
に豊かに過ごすのか。やはり健康
であることが基本です。皆さ
んは何か運動していますか?僕は
運動不足解消のため毎日1万歩を目
標にウォーキングしていました。が、
最近目標を1日10キロのジョギン
グにバージョンアップし、涼しい
早朝か夜に毎日走っています。来
年の今頃まで続いているかな?

(荒谷修司 87期)

4年前 突然やって来たCOVID-
19。様々な制限のある中、発行を続
ける事ができました。皆様のご
協力あつての事と心よりの感謝を
申し上げます。なかなか終息に至
らない中でも、皆さん前を向いて
歩んでいらつしやることを感じて
いただけましたでしょうか。

(渡邊由美子 81期)

校正協力(87期)、
池田智之・海老名徹・栗山ゆか
り・澤口亜樹・中谷考志・三千
俊之・山科直樹

2ページ写真、
小葉松 隆 第87期

事務局のメールアドレスが
変わりました。

kanchu@kanchu.tokyo

白楊ヶ丘同窓会東京支部
ウェブサイト
<https://kanchu.tokyo>

